

2、川原のようすと流水のはたらき

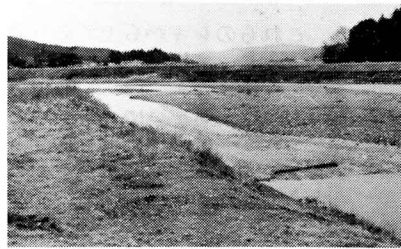
(1) 調べる場所

学校の近くの久慈川

(2) 土手の上から川原の様子や水の流れを観察する。

① 土手の上から川の全景をスケッチする。

② 川原や中州、川の流れの大部分はどこを流れているか等、気付いたことを書き入れる。



(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

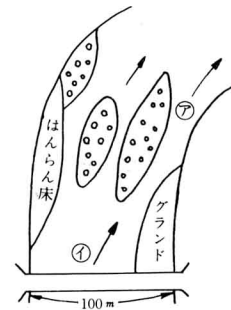
① 中州の⑦付近で、中州から岸に進むにつれ、深さはどう変わるか。

② また、中州近くと岸の近くとで、流れの速さはどうか、木片を流して較べてみよう。

流速と川の深さとの間にどのような関係があるか、まとめてみよう。

③ ⑦と①付近でそれぞれ10mの長さを取り、川の流速を調べてみよう。

また、⑦、①の川底のレキの大きさなど観察してみよう。川底の様子に違いがあるかどうか。



(4) 川原のレキを調べる。

川原のレキや砂のつもり方が平均している所を選んで、1 m 四方の方形枠を置き、この方形枠内に入っている長径 5 cm 以上のレキを全て、ビニルシートに取り出す（表面に見えているレキのみ）。

① 大ききで分ける。

レキの大ききによって、5~10cm, 10~15cm, 15cm以上に分けその数を調べる。

② レキの形を調べる。

レキの形に、まるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。